

平成二十四年度 狭山台小学校 第二学期

始業式 校長の言葉

四十四日間という長い間の夏休みでしたが、大きな事故や怪我もなく、皆さんと元気に二学期始業式を迎えられたことをうれしく思います。

今まで狭山台小学校では、「挨拶・歌声・学び合いの声が響く狭山台小学校」をつくるために、特に、「挨拶と歌声」に力を入れてきました。二学期は、いよいよ「学び合いの声」です。どの教室からも、「はい、何々です。」「はい、私は、何々だと思います。」「はい、僕は、〇〇さんの意見に賛成です。」「質問です。〇〇さんの意見は、こういうことですか。」というように、学び合いの声が響いてくる教室にしてもらいたいと思います。そのためには、「こんなことを言うと、笑われてしまいう。」とか、「もし、間違えていたら心配だな。」「反対すると、後で、〇〇君に、何か言われ

ないかな。」とかいう安心できない心配だらけの教室では、意見が伸び伸びと言えません。ぜひ、皆さんの教室を、安心・安全なクラスにしてください。そのために、大切なことは二つです。

一つ目は、「いじめをしない させない 許さない」ことです。一学期に、全校の皆さんに「いじめ」についてお話し、自分がしなければならぬことについて一生懸命考えてもらいました。それぞれが考えたことを実行し、いじめを「しない させない 許さない」学校、学校教育目標「やさしい子」でいっぱいな学校にしていきたいと思います。

二つ目は、皆さん一人一人の「命」を大切にすることです。特に、飛出しによる自転車事故には気を付けてください。また、地震や火事、不審者がやってきても、よく放送の指示を聞いて、どのように行動したら良いのか、自分の身は自分で守れるように、二学期しっかり先生方に教えていただき、学校教育目標

「たくましい子」になりました。

このように、安心・安全な学校・学級の中で、皆さんは、良く学び合い、勉強がよく分かる学校教育目標「かしこい子」になりました。よう。もし、返されたテストに×があったら、必ず○になるまで、先生に教えてもらってください。×のまましているとそこがよく分からないまま、次の×へとつながってしまい×が増えていってしまいます。×は、習ったことを見直しするよいチャンスです。「見直し」をしつかりすることが、学ぶ力となるのです。

さあ、二学期スタートです。楽しい行事もたくさんあります。先生方と一緒に、「あいさつ・歌声・学び合いの声」を響かせ、先生方のお話をよく聞き、よく教えていただき、「よりやさしい子・よりたくましい子・よりかしこい子」になりました。

平成二十四年九月三日

狭山市立狭山台小学校長 小俣 恵美子

